

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

- 株式会社ビューテック様 有限会社サンデー広報様 第一生命保険株式会社様
- からコロ屋様 24時間テレビチャリティー委員会様 宮崎 澄男様 木村 憲治様
- ワークセンターいながわ様 土橋建築設計事務所様 ホーム家族会様
- こんふおーと家族会様 他 匿名希望者14名(順不同)

寄付金(令和2年度)累計額 1,204,422円

食欲の秋 長谷川栄養士 おすすめレシピ

「さつまいもごはん」 4人分

材料

- 米 2合 さつまいも 220g(皮付き)
- 酒 大さじ2 塩 小さじ1/2

作り方

- 1、米を研ぎ、水を2合の線に合わせ加え30分水に浸ける。
- 2、さつまいもをよく洗い、皮付きのまま1.5cm角に切り水にさらす。
- 3、1に塩・酒を加え軽く混ぜ、米の上になつまいもを乗せて炊飯する。
- 4、炊き上がったたら軽く混ぜてお茶碗に盛り付け完成。

栄養価(1人分)
エネルギー 211kcal
脂質 0.5g
タンパク質 2.4g
食塩相当量 0.7g



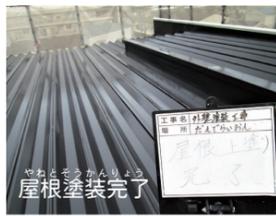
さつまいもの皮には食物繊維が豊富に含まれており、便秘の改善が期待できます！是非皮ごと食べてください！



『本館大規模修繕工事完了のご報告』 総務部 部長 辻正晃

だんでらいおんも15周年を迎えるにあたり、かねてより計画していた本館大規模修繕工事を本年4月半ばより着工し、6月11日に竣工いたしました。主に外壁の亀裂や割れの修繕、外壁と屋根の塗装、バルコニー溝の防水加工が施されています。工事期間中は本館全面を覆う足場が組まれ、少し心配もありましたが、窓の外を職人さんが行き来すると利用者様も初めはビックリ！でしたが、次の時には手を振っていたりと無事に終わることができました。

しっかり修繕していただき、開設当初の本館のように蘇ったので、これからまた数年先まで利用者様に気持ちよくご利用いただけると思っております。



編集後記
気持ちの良い秋風が吹きわたる頃となりました。皆様にはいよいよ健やかに過ごしのこととお察しします。今年には連日コロナウイルスのニュースに明け暮れ、自粛を余儀なくされる日々が続いています。そのような中での法人としての取り組みや、皆様からのご支援のご報告をしたく、前号に続き特別号の発行となりました。先の見えないコロナの影響ですが、コロナ禍においても前向きな思いがたくさん掲載されておりますので、是非一読よろしくお願ひ致します。 担当：川端・池田



特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぽぽ通信

令和2年度 秋号

障がいを持つ方々が地域の中で自立していける社会を目指して

発行元：特定非営利活動法人 だんでらいおん
発行責任者：久保 哲哉
〒546-0023
大阪市東住吉区矢田 5-9-8
TEL: 06-7668-1101
発行日：令和2年10月28日

「当法人のコロナ禍対策」

拝啓

秋涼の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになりました方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染されました方々やそのご家族、不安のなかにおられる方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

当法人では、第1波の頃に比べますと、感染症対策への設備投資や意識改革、実際に感染者が発生した施設の関係者から話を聞くなどしてマニュアル整備が進みましたことから、「焦り」よりも「落ち着き」が徐々に増してきました。

しかしながら、第2波が落ち着きつつあり、人の移動が活発化していることから、「緩み」に対する警戒、いつ当法人でも感染者が発生しないか不安な日々も続いております。その為、職員の健康等に関する管理の難しさが増してきております。

当法人は3月からプライベートでの職員同士の飲み会等について自粛をお願いしており、現在も継続中です。一方で家族や職員以外の友人とは、密を避けるなど感染症対策を取りながらの外出をお願いしております。

「プライベートまで管理されるのか」との意見もあると思いますが、当法人の顧問弁護士や社会保険労務士に相談しましたところ、『クラスターが発生してしまったら、利用者様の生命や職員の生活を脅かすことに直結する事業内容の特殊性から、職員同士の外出に関する行動制限は、新型コロナウイルス感染症のリスクから鑑みても差し支えない』との見解をいただき自粛のお願いに至りました。

新型コロナウイルス感染症防止対策の期間が長期間になっていることから、職員の心身に大きな負担があることも承知しております。家族様や関係者から激励の寄付や寄贈も頂戴しております。当法人としても、これまでに常勤・非常勤すべての職員に平等にマスクや携帯用アルコールなど品薄物資の支給や、7月には慶弔規程に「新型コロナウイルス感染症に関する見舞金規定」を制定し、規定に基づいて相当額の見舞金を支給しました。今後も国の第2次補正予算に盛り込まれた「新型コロナ感染症緊急包括支援事業実施要綱によるコロナ慰労金」を受け取る予定です。

職員も様々な方々からの応援があつて、今、専門職として職務に専念できているとの思いを胸に、大変な時期を乗り越えていただきたいと思います。私も利用者様が更に安全で安心してサービスを受けていただける環境づくりに精進していく決意です。

今後とも「だんでらいおん」を宜しくお願ひいたします。



法人理事 兼 統括施設長 久保 哲哉

敬具



家族との久しぶりの再会

(他施設に入所されているAさんの状況)
居宅介護事業所 主担 山下雅史

新型コロナウイルス拡大が落ち着いてきた時期に5か月ぶりに移動支援を行いました。利用者様は長らく自宅に帰っていませんでしたが、お迎え時は比較的落ち着いた様子でした。スムーズにマスクを着用され、電車内では空いている車両に座ったり、吊り輪や手すりに触られる度、アルコール消毒を行って、慎重に感染対策を行っています。利用者様は、徐々に帰宅する実感が湧いてきた様子で、自宅で食べたいものをジェスチャーでアピールされ、帰宅できる喜びを全身で表現されました。自宅でお母様と対面して喜ばれている場面に立ち会った時は、私も自然と顔がほころびました。現在は再び帰宅を自粛している状況ですが、帰宅の再開を楽しみにしています。

笑顔の大切さを感じる日々

短期入所ルボゼ 主担 城崎恵美

今年2月下旬から始まったコロナ感染への警戒の中、当法人でもいろいろな対策を行い、利用者様、家族様はもとより、職員も元気に過ごしております。ルボゼでは感染予防のため、心苦しくはありましたが、5月初旬に地域の利用者様の受け入れをお断りさせていただいていました。また、利用を控える利用者様もおられました。利用再開した日には、元気にフロアを行き来される方やおいしそうに食事召し上がられる方の変わらない笑顔を見て安心致しました。ほかに、予約受付の際に家族様から「朝、ルボゼのカバンを抱きかかえて、入所を楽しみにしているようだった」と、仰っていたいた時は本当に嬉しく思いました。

私は職務の中で、利用者様との関わりが元気の源になっています。決して平穏な場面ばかりではありませんが、それでも笑顔を見せてもらえる、心から癒されています。今後も感染予防に努め、利用者様が安心して入所し、笑顔で過ごしていただけるような支援に取り組んでまいります。

コロナ禍に負けない笑顔

共同生活援助みんなの家 主担 森くるみ

今年の2月頃から日本でも本格的にコロナウイルスが流行し始め、4月7日から緊急事態宣言が発令されました。はじめはどのようなウイルスか気になり、自分なりにニュース等で調べてみましたが、調べれば調べるほど本当に怖いのだと実感しました。また、マスクも瞬く間に入手困難となりました。そんな中、法人ではマスクの入手に力を注ぎ、入手したマスクが順次、利用者様や職員に配られました。そしてその都度、法人から励ましや新型コロナウイルス対策の指示を載せたプリントをいただき、次第に不安も薄れて支援にしっかりと向き合えるようになりました。

利用者様に關しても、手洗い・うがい・アルコール消毒・外出時のマスク着用を徹底して、感染予防に全力で取り組んでいます。元気に生活介護へ通い、笑顔でホームに帰ってくる利用者様の姿を見るととても嬉しく思い、こんな状況下でも心が温まります。そして、このような職場で働ける事を幸せに感じます。



コロナと共存する中での小さな助け合いが大事

生活介護こんふぁーと 主担 東中尾竜治

新型コロナウイルスの感染拡大により、コロナウイルスの脅威と向きあって生きていくことが大切となっています。感染予防対策ではマスク、消毒液不足問題等がある中で家族様からの寄付やだんでらいおんに携わる関係機関からのお声掛けにより、必要備品を確保できました。法人としては、ジアイーノの設置や感染予防に必要な備品（防護服、マスク、アルコール等）を取り揃えることで施設内での感染者ゼロを継続できています。

利用者様・家族様・職員が笑顔が見えない現状があるのは、多くの方々から普段の日常に戻れるように協力して今の状況に向き合っている結果だと思えます。この先もなかなか見通しが立たない状況が予想されますが、利用者様・家族様・職員が一致団結してこのコロナ禍を乗り越えたいと思います。

コロナ禍の中で見え方 絆と次への目標

生活介護リアン 主担

生活介護事業所リアンでは、新型コロナウイルス感染症拡大のため、外出の行き先の制限があり、「本屋さんに行きたい。」「神戸に行きたい。」「調理実習の買い物をしたい。」など行きたい場所や、やりたい事を職員に伝えられています。その中で職員は「コロナが終わったら、好きな所へ行きますよ。」など利用者様が日々安心して過ごす事ができる返答を考えています。利用者様・家族様・職員も感染しない、させないよう色々和我慢していると思いません。そんな中でも利用者様は、コロナ禍の状況に負けないような笑顔を見せてくれます。私たちも利用者様に負けないぐらいの笑顔で、このコロナ禍を乗り越えたいと思っています。

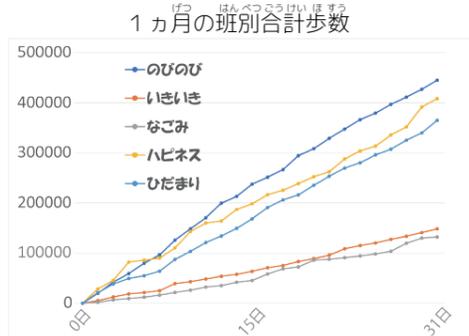
また今だからできることを見つけて、新たなことにも挑戦できる機会を設けていきたいと思っています。



健康管理上での歩数計始めました。

7月より利用者様の健康管理のため、歩数計を導入しました。まずは普段通り過ごしていただき、それぞれの利用者様の1日の平均歩数の割り出しを各班で行っています。実際に歩数を測定してみると、1日を通して同じ活動をしていても利用者様によって差が出たり、室内で過ごされていてもバランスボールで遊ばれる利用者様は数字が圧倒的に多かったりとたくさんの気づきや発見がありました。

今後の展望としては、歩数をデータ化して、それを基にひとりひとりの目標値を設定することで、年齢や性別、体重等に合わせた細かい支援が提案できると考えています。職員としてもまだまだ知識不足ではありますが、今までにない視点から利用者様の健康づくりを支えていけるよう努めて参ります。



生活介護こんふぁーと 主担 山下逸

避難訓練 居宅支援部 副主任 津司真木子

近年、地球温暖化の影響で、例年の2倍を超える記録的な大雨が全国各地で起こり、河川の氾濫による家屋の浸水などの被害がニュースでよく流れるようになりました。当法人も大和川に程近い場所にある為、今回の避難訓練は水害を想定した内容で行いました。火災を想定した避難訓練では火災報知機を鳴らしますが、今回の水害訓練ではアラームを鳴らしてスタートしました。その結果、利用者様は状況のイメージが持ちにくく、避難するのに時間が掛かってしまいましたが、職員間で連携し、緊迫した様子で利用者様を誘導することで、徐々に利用者様も避難することに集中し、円滑な誘導を行うことが出来ました。又、骨折した職員を救護班が応急処置を行う訓練では、添え木に傘を使い、包帯の代わりにテープを使っての固定と、近くにあるものでの的確に行うことが出来ました。今後も様々な内容を想定した避難訓練を行ってまいります。



たんぽぽ通信 特別号



みなさま 皆様からたくさんのご支援を頂きました。

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、日頃よりご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。このコロナ禍の中、様々な企業様から多くのご寄付やご助力を頂きました事に、誠に感謝しております。ご購入させていただきましたものにつきましては、利用者様・職員の感染予防に有効活用しております。そこで皆様から頂きましたご支援のほんの一部ではありますが、この場でご紹介させていただきます。温かいお心遣いに感謝申し上げますとともに、これからも変わらないご支援をお願い申し上げます。



ご寄付、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(順不同)

有限会社サンデー広報	文元 様	【寄付】次亜塩素酸水 計13L を寄付していただきました。
第一生命保険株式会社	天野 様 清川 様	【寄付】使い捨てマスク 50枚 を寄付していただきました。
からコロ屋 様		【寄付】使い捨てマスク 50枚 を寄付していただきました。
24時間テレビチャリティー委員会 様		【寄付】洗えるマスク 1箱 を寄付していただきました。
株式会社ビューテック	若本 様	【寄付】ウイルスプロテクター 10L を寄付していただきました。
職員ご友人		【寄付】使い捨てマスク 200枚 を寄付していただきました。
職員家族 様		【寄付】使い捨て手袋 6箱 を寄付していただきました。

品薄の中、備品確保にご尽力いただきありがとうございました。(順不同)

株式会社アーネスト 様		【企業協力】フリーキラー-Z (次亜塩素酸水) 50L を購入させていただきました。
株式会社大塚商会 様		【企業協力】使い捨てマスク 500枚 を購入させていただきました。
株式会社大塚商会 様		【企業協力】防護服 18着 を購入させていただきました。
ナニワ商事株式会社 様		【企業協力】ジェSPA 20L を購入させていただきました。
ナニワ商事株式会社 様		【企業協力】使い捨てマスク 2000枚 を購入させていただきました。
株式会社レナトス 様		【企業協力】使い捨てマスク 2500枚 を購入させていただきました。
矢田人権協会 様		【企業協力】使い捨て手袋 約4000枚 を購入させていただきました。
松本電機商会 様		【企業協力】次亜塩素酸空間除菌脱臭機シアイーノ 計11台 を購入させていただきました。

コロナに負けるな！だんでらいおん感染症対策

だんでらいおんでは、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでいます。
利用者様、家族様、職員、みんなの努力でコロナに負けるな！



ジアイーノも完備！



検温は非接触
体温計を使用。



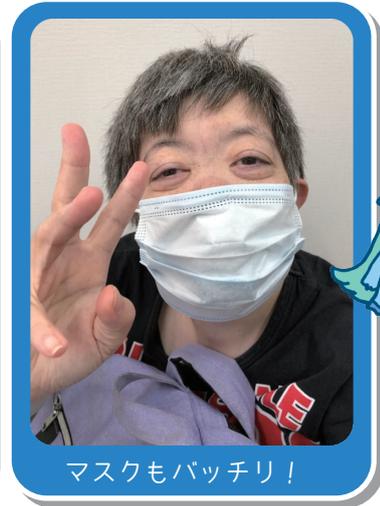
自動でアルコール
消毒液が出ます。



手洗いはこまめに。



歯ブラシ除菌機も
設置しました。



マスクもバッチリ！

これまでの取り組みや皆様のご協力のおかげで、これまで感染者0を保って参りました。
法人による取り組みだけでなく、利用者様、職員、関係者各位のご協力が感染症を拡大させていないという結果につながっております。だんでらいおんでは、これからも油断することなく、感染症対策を続けて参ります。

令和2年度赤い羽根共同募金様より助成を頂き、 非常用発電機を購入致しました。

この度、赤い羽根共同募金様より非常用発電機の購入補助を頂き、ポータブルガス発電機を購入する事ができました。災害等で電気が使えない時でも、冷蔵庫や通信機器が使えるので、安心安全なサービスの提供に役立たせたいと思います。緊急時における非常用電源が確保でき、利用者様・職員にとって心強いものとなりました。

皆様の善意に職員一同、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

